

—PR—

日本の トップランナー企業

絶好調の「ファイニングマグ」

シナジー効果で可能性広がる

住友重機械ファインテックを拡大している。FTTEC(以下FTTEC)の松木信雄社長とは住友重機械工業の100割出資の関係会社。精密機械(平面研削盤)とクーラントシステムの名事業を2本柱にして、製造販売、アフターサービスを営んでいる。この4月にそのクーラントシステム「ファイニングマグ」の勢いが止まらないようですね。

松木「このマグネットセパレーター「ファイニングマグ」は主に「が累計出荷台数3万台を達成し、顧客層は鉄などの磁性体を研削されるお客さまに



排出された切くずはファイニングマグのコンセプトが凝縮されている

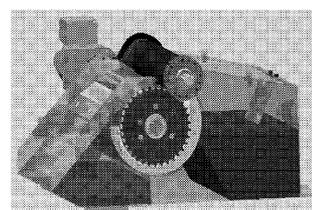
宮川「マグネットセパレーターは磁力を使って切くずを回収するのですが、ファイニングマグはその回収能力が高いこと、それを絞りローラーの水切り機能で研削切くずの含水率を3割台まで落とすことができます。回収能力や水切り性能は業界トップクラスです。水切りが不十分だと回収物が産業廃棄物にしかならなかったものが、含水率がここまで低いと手に取った時にパサパサした感じ

宮川「02年の発売当初から累計出荷台数が1万台を超えているところですね。国内の研削盤市場は年間5000~6000台とされる中で、私たちがこれまでお客さまのご期待にお応えできるか挑戦しているところなんです」

宮川「02年の発売当初から累計出荷台数が1万台を超えているところなんです」

宮川「02年の発売当初から累計出荷台数が1万台を超えているところなんです」

住友重機械ファインテック



ファイニングマグはドラムと絞りローラーを確実に駆動する構造により高性能を長期間発揮する

をラインアップしており、例えば15年にはほぼ1割の磁力を持つ超高磁力型の「UKタイプ」を発売しました。UKタイプでは従来の高磁力型でも回収が困難だった超硬切くずなどの回収ができる画期的なマグネットセパレーターで、業界で追随する類似商品はないと認識しています。その結果、今までと異なる業界の顧客開拓にもつながっています」

宮川「これからは国内市場だけでなく、海外市場にも力を入れたいですね。中国に加えて、欧米に進出する日系メーカーへも積極的に売り込んでいくつもりです。従来の主要顧客である自動車関連メーカーはもちろんですが、その他の業界へも市場開拓の余地は大きいと考えています」

宮川「02年の発売当初から累計出荷台数が1万台を超えているところなんです」

宮川「02年の発売当初から累計出荷台数が1万台を超えているところなんです」

宮川「02年の発売当初から累計出荷台数が1万台を超えているところなんです」

宮川「02年の発売当初から累計出荷台数が1万台を超えているところなんです」

宮川「02年の発売当初から累計出荷台数が1万台を超えているところなんです」

宮川「02年の発売当初から累計出荷台数が1万台を超えているところなんです」

宮川「02年の発売当初から累計出荷台数が1万台を超えているところなんです」

宮川「02年の発売当初から累計出荷台数が1万台を超えているところなんです」

住友重機械ファインテック株式会社
<http://www.shi-ftec.co.jp/> <http://www.finemag.jp/>
 ■本社・工場 〒713-8501 岡山県倉敷市玉島乙島8230番地
 TEL.086-525-6281 FAX.086-525-6137